

みんなできよう 地域の子

「あいさつができる人」「話がしっかり聴ける人」「思いやりのある人」



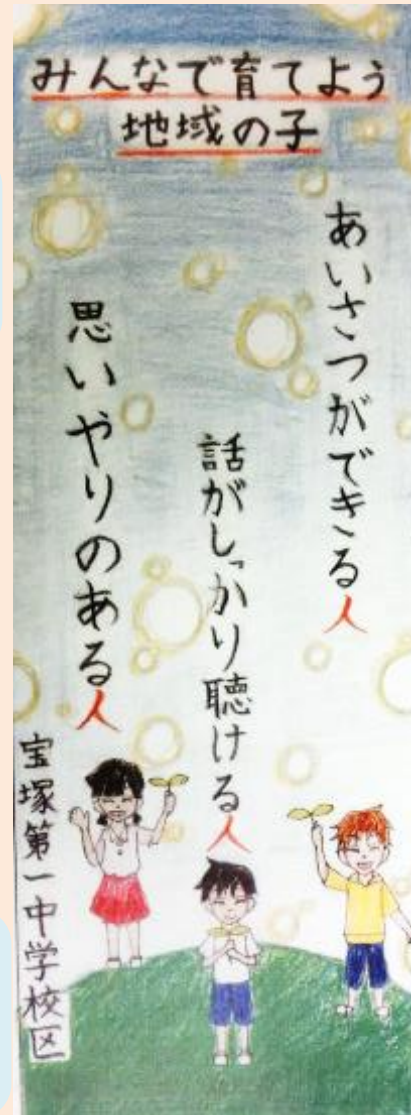
仁川小学校の正門にのぼりを設置しました。(左写真)



児童の登校時の様子



宝塚第一中学校生徒が創作した啓発用のぼり →



仁川小学校長 荻野 雅憲

宝塚第一中学校区では、毎月一回程度、校区の小中学校長、幼稚園長、保育所長が集まって、確かな力と豊かな心を持つ子どもを育てていくため、保幼小中の連携についての話し合いを続けてきました。今年度は、一中校区としての「めざす子ども像」を『あいさつができる人』『話がしっかり聴ける人』『思いやりのある人』と定め、各学校園所でそれぞれ子どもの実態に応じ、実現に向けての取り組みを進めてきています。

この度、この取り組みを広く保護者や地域の方に知っていただき、共に取り組みを進めていくことを願って、啓発用のぼりを作成しました。デザインは宝塚第一中学校の生徒が創作してくれました。今後、各学校園所や自治会館等の公共施設に掲げていきます。

これを契機に、日々のあいさつや声かけの輪が地域に広がっていくこと、地域の様々な行事での出会いなどを通じて、子どもたちと地域の多くの大人が顔見知りになり、つながりが深まっていくこと、そしてますます安全・安心の明るい仁川地域が醸成されていくことを願っています。



トライやる・ウィークの中学生も児童の登校を見守りました。



宝塚第一中学校長 西村 松代

宝塚第一中学校では、「自分から進んで目と目を合わせて」あいさつを交わし合えるような心通う温かい学校づくりを進めています。生徒会を中心に、毎朝、校門前であいさつ運動をし、あいさつの大切さを全校生徒に呼びかけています。中学校からあいさつの輪を広げられるように、そして一中校区みんながあいさつでつながっていけるととっても幸せです。



登校時に児童を見守ってくださっている青少年補導委員の皆様(写真上)と民生委員・児童委員の皆様(写真下)を児童に紹介しました。



仁川ウエル保育園長 村井 富紀子

仁川ウエル保育園は宝塚第一中学校区の一員として、地域に根づく保育園でありたいと考えています。

地域の人たちの温かい環境のもと、子ども達がしっかりとした考えを持ち、思いやりのある人に育ててほしいと日々取り組んでいます。人と人との心を通い合わせる「あいさつ」。笑顔で「こんにちは」「おはようございます」「さようなら」等々、日々の中で繰り返し気持ちよくかわし、また、人に心をよせて「あなたの話を聴きますよ」という態度を身につけ人の心わかる人になるよう、毎日の生活の中で子ども同士や大人とのコミュニケーションを大切に過ごしていきたいと考えています。

また、保幼小中の連携を深め、「子どもにとって何が大切か？」をしっかりと話し合い、地域の皆様のご協力のもと、子ども達が愛情いっぱい多くの方に見守られながら良き市民として成長していく事を心から願っています。



仁川幼稚園長 米本 美千代

仁川幼稚園では、園児・保護者・職員みんなの「おはようございます！」の元気な声で、楽しい一日が始まります。笑顔で目と目を合わせ、あいさつを交わすことで、温かい気持ちになり、心がつながっていきます。地域のみなさまとのつながりも、ますます大切にしたいと思えます。よろしく願いいたします。

預かり保育キッズサポーターを募集しています

場所：仁川幼稚園
日時：月・水・金曜日の14:30~16:30
火・木曜日の13:00~16:30のうち2時間程度
長期休業期間中は9:00~16:30のうち2時間程度
※月に1、2回程度からOKです
内容：仁川幼稚園児(数人~10人程度)の預かり保育
資格は必要ありません。薄謝あり(学生はなし)。

お問合せ先：仁川幼稚園 0798-51-7871 米本